

令和5年度文化芸術の振興に関する県民アンケートの活用例  
(地域ごとの特性の分析)

1 アンケートの掲載場所（美の国秋田ネット）

URL : <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/80513>

階層 : ホーム > 分野別一覧 > 観光・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 文化・芸術の振興に関するお知らせ > 文化振興・推進関連情報 > 令和5年度文化芸術の振興に関する県民アンケート

※美の国秋田ネットトップページの検索バーにコンテンツ番号「80513」を入力すると直接飛びます。

2 作業方法

- ・アンケート中、文化芸術施策の方向性に関連する設問の各回答（設問ごとに1位から3位までの3つの回答を選択する方式）の選択率を9地域間で順位付け、地域別の回答傾向の特性を洗い出し。
- ・特に、本県の有力な文化資源である、「伝統行事」、「民俗芸能」、「文化財」、「歴史的な建物」、「遺跡」に関する施策に係る回答と、今回の研修のテーマに関連する「子供」、「要配慮者（以下、アンケートにおいて挙げられている高齢者、障害者、性的少数者、外国人を指す）」に関する施策に係る回答の類型に属するものについて、地域ごとに選択率が上位3位以内の回答を抽出し、地域別の回答傾向の特性を洗い出し。
- ・傾向の洗い出しのほか、ある地域において顕著に高い選択率を示した回答（第2位以下と10ポイント以上の差で選択率が高い回答等）にも注目した。

3 留意点

- ・この活用例で挙げた地域特性とは、上記のような着眼点に基づいて回答選択率の高低を地域間で比較した結果として見出された相対的なもの（県内の他の地域と比べれば、このようなことがいえるといった意味合い）であり、必ずしも地域住民が抱く施策ニーズの優先度を反映したものではないことに留意する必要がある。（地域ごとの施策ニーズの優先度は、各設問内で選択率が高かった回答に係る施策ほど高いこととなる。）

4 地域ごとの特性

○鹿角地域

- ・民俗芸能への関心を示す回答の選択率が高い。
- ・子供の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が高い一方、要配慮者の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が低い。
- ・文化芸術の鑑賞頻度が高いことを示す回答と主体的な文化芸術活動を行っていることを示す回答の選択率が共に高い。

### ○北秋田地域

- ・文化芸術に触れるための情報、機会、場（施設）、交通手段等の不足感を示す回答の選択率が高い。
- ・重視すべき施策についての設問で、「文化芸術情報の多様な発信と観光・福祉・教育・産業など他分野との連携」の選択率が9地域中最も高い。

### ○山本地域

- ・伝統行事や民俗芸能への関心を示す回答の選択率が高い。
- ・要配慮者の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が高い。
- ・音楽分野の施策強化を求める回答の選択率が顕著に高い。

### ○秋田地域（秋田市）

- ・相対的に文化芸術インフラが充実している地域といえるが、文化芸術に触れるための情報や場（施設）の不足感を示す回答の選択率が高い。
- ・文化芸術の鑑賞頻度が高いことを示す回答の選択率が顕著に高い一方、主体的な文化芸術活動を行っていないことを示す回答の選択率も高い。
- ・情報発信の取組についての設問で、「インターネットやフェイスブックなどのSNSによる情報発信」の選択率が仙北地域と共に顕著に高い。

### ○秋田地域（秋田市以外）

- ・文化芸術に触れるための情報、機会、場（施設）、交通手段等の不足感を示す回答と鑑賞頻度が低いことを示す回答の選択率が共に高い。
- ・子供、要配慮者の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が共に比較的高い。

### ○由利地域

- ・地域の伝統行事、民俗芸能、文化財の保存・活用・継承に係る施策への関心を示す回答の選択率が高い。
- ・要配慮者の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が高い。

### ○仙北地域

- ・地域の歴史的な建物や遺跡などの保存・活用に係る施策への関心を示す回答の選択率が顕著に高く、伝統行事、民俗芸能に係る施策への関心を示す回答の選択率も比較的高い。
- ・相対的に観光資源が充実している地域といえるが、文化芸術を観光等の他分野と結びつける回答の選択率が低い。
- ・情報発信の取組についての設問で、「インターネットやフェイスブックなどのSNSによる情報発信」の選択率が秋田地域（秋田市）と共に顕著に高い。
- ・子供の文化芸術体験促進についての設問で、「学校と地域の文化施設や機関との連携を強化し、校内外で一体化した文化芸術教育を行う」の選択率が顕著に高い。

### ○平鹿地域

- ・文化芸術施設の充実に係る施策への関心を示す回答の選択率が高く、展示型の文化芸術分野への関心を示す回答の選択率も高い。一方で、身近な施設やその情報の不足感を示す回答の選択率も比較的高い。
- ・文化芸術を観光等の他分野と結びつける回答の選択率が高い。

### ○雄勝地域

- ・子供の文化芸術受容への関心を示す回答の選択率が高い。
- ・文化芸術活動をするに当たって不便や不満を感じていることについての設問で、「活動するための情報が少ない」の選択率が顕著に高い。

## 5 分析

- ・全体に、その地域がこれまで活用や保存・伝承に注力してきた地域固有の文化芸術資源や、従来から行われてきた地域独自の特色ある取組、既存の文化芸術インフラといった、従来からの地域の「強み」に着目し、それらについての更なる施策強化を求める意識傾向が見られる。
- ・一方で、文化芸術インフラが充実している秋田市において、文化芸術に触れるための情報や場（施設）の不足感を示す回答の選択率が高いなど、地域の「強み」が十分に生かされていないことを示唆する結果も見られる。
- ・要配慮者の文化芸術受容（鑑賞）に係る回答と、表現及び表現者の多様性の志向に係る回答は、大きな類型としては同じく社会の包摂性に係る項目と思われるが、各地域とも両者の選択率に傾向の一貫性が認められず（前者の選択率は高いのに後者は低いなど）、文化芸術と包摂性を結びつける意識の未成熟がうかがわれる。